



S30は、ノックなしで芯1本分書き続けられるオートマチック機構を搭載したシャープペンシルです。

①筆圧を弱めてご使用ください。

強い筆圧で筆記すると、内部機構に負荷が大きくなるため、芯がもぐる原因となります。

②不必要なノックは避けてください。

S30はノックが要らないオートマチック機構を採用しているため、繰り返しノックを行うと芯をつかむ力が弱くなり、芯がもぐる原因となります。

③使用後に芯を収納する際は、ノブ(ノック部)をしっかりと押し込んでから芯を戻してください。

ノブをしっかりと押し込まずに芯を戻そうとすると、内部機構が傷む原因となりますのでご注意ください。

使用方法

●ノブを1回ノックするとガイドパイプが出ます。【図1】

●ガイドパイプから芯を出さずに筆記した場合は、芯が自動的に出てくるので、1本分の芯をノックせずに書き続けることができます。

(※芯を出した状態で筆記した場合は、オートマチック機構は作動しません。)

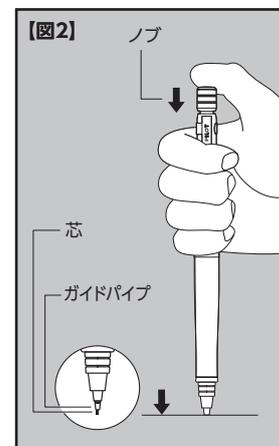
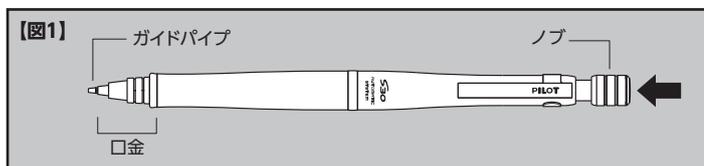
●ノブを押しながら芯の先を押すと、ガイドパイプから出ている芯を戻すことができます。

●芯の補充は、ノブを引き抜き、消しゴムを取って行ってください。

●芯タンクには替芯が6本まで入ります。入れすぎると芯が出ない場合がありますのでご注意ください。

●芯を補充した際は、芯がガイドパイプから出るまでノックしてください。

●使用後は、右上図のようにノブを押しながらガイドパイプを紙面などに押し当て、収納してください。【図2】
(オートマチック機構がロックされます。)



筆記中にガイドパイプが引っ込む時

ノブを1回ノックしてください。それでもガイドパイプが引っ込むときは残り芯が短くなっています。ノブを押しながら短くなった芯をガイドパイプから抜き取り、新しい芯がガイドパイプから出るまでノブをノックしてください。

芯詰りの除去方法

芯がタンク内にあっても芯が繰り出されないときは、次のように分解して口金やチャックを掃除してください。

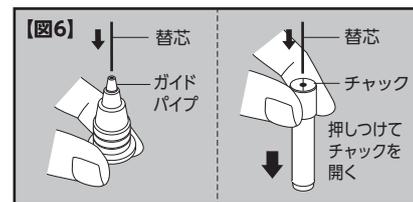
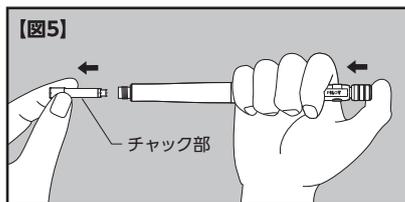
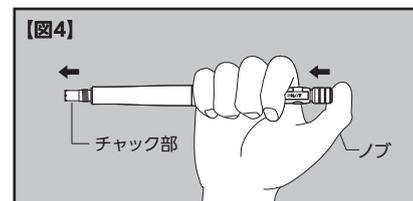
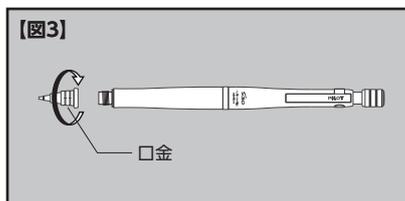
①口金を左に回してはずします。【図3】

②ノブを押してチャック部を出します。【図4】

③ノブを押しのまま、チャック部を引き抜きます。【図5】

④口金内やチャック内に詰まった芯を替芯で除去します。【図6】

⑤組立は、分解と逆の手順で慎重に行ってください。



替芯・替ゴム

- 替芯はパイロット純正品をご使用ください。
- 替ゴムはパイロットHERFS-10をご使用ください。

使用上のご注意

- 筆記以外には使用しないでください。
- 先端がとがっているので、ご注意ください。
- ノブ、消しゴム、口金などの部品は口に入れないでください。
- 幼児の手の届く所に置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や、高温になる場所に置かないでください。